

2015.5.12

「大阪都構想反対Ⅱ『二重行政解消は詭弁！！党本部は反対へ！！』」

こんにちは、参議院議員の西田昌司です。本日は5月12日の火曜日です。昨日、私は自民党の総務会に出向き、大阪都構想について、党本部でしっかりとした反対の態度表明をするべきだということを申し上げてきました。その記事が本日の読売新聞などに出ておりましたが、正確に伝わってないので、私からお話をさせて頂きたいと思います。この問題は大阪府連の方では協議をしており、勿論反対でした。また、我々京都も含めた近畿ブロックも会議を行い、中身を協議した結果、当然反対でした。そして、自民党の政調会でも正副のインナー会議をして頂くと、誰一人賛成の方がいなかったという現実があります。本当は、平場をやって、党として反対の決意表明をするべきであります。時間的にも中々出来ません。その一つの原因が、今まで勉強会を行おうと要請をしていたのですが、賛成派の先生が誰一人見つかりませんでした。その結果、反対の先生は沢山いらっしゃるのですが、賛成の学者の先生に自民党に来て講演することを断られ、党の中で勉強会が出来なかったのも、党としての正式な決意表明が出来ない形となっております。党としては、様々

な角度から検討した結果、全く賛成の所が無いのです。ですから、我々近畿などが中心となった勉強会の決議をもって、党として態度表明をして頂くように、そしてそれには党三役の方に必ず大阪に入ってもらって、明確に市民に訴えて頂く事をお願いし、その方向で調整することを総務会で確認して来ました。従いまして、週末までには間違いなく党三役がしっかりとした態度表明を大阪市民に向けてして頂けると確信しております。

その記事の中で、官邸の方から、二重行政解消の為には必要なことだと思ふ云々と言うような事が新聞等で書かれているようですが、これは全く筋のない話だと思えます。なぜなら、もし大阪都構想が二重行政解消に本当に役に立つ政策ならば、例えば横浜市という日本最大の政令都市や川崎市、京都市がなぜ二重行政の解消のため、都構想の様なことでやらないのでしょうか。全くの意味不明です。つまり、この大阪都構想は二重行政云々に役に立つことすら詭弁に過ぎません。所謂、橋下さんの主張を反対しないための方便で使っているだけなのです。それは色々な思惑で言うのはそれぞれの政治家の責任でやれば良いのですが、一つはっきりしていることは、我々自民党と維新の党は違う党なのです。違う党の政策を仲間が議論し

て反対したことと同等に扱い、仲間が必死で反対していることを後ろから鉄砲で撃つ様な、反対の方向に引っ張る事は組織政党として、また政党の議論としても断じて有り得ないことなのです。この事は皆様方にも是非ご認識頂きたいです。二重行政解消をするならばまず横浜市から解消すれば良いと思いますが、そう言った意見が無いことも含めて、全く詭弁に過ぎない事をはっきり申し上げておきたいと思います。

そして、最後に申し上げたいことは、私は先週末に大阪に行きまして、街頭から大阪都構想に反対する呼びかけをしました。その時に、全く見ず知らずのお婆さんが私の所に近寄って、「私は橋下徹さんを信じて、知事や市長に投票した。しかし、期待したけど全くデタラメで嘘つきだった。橋下さんがやったのは年寄りをいじめることばかりだった。」という事を仰って、この大阪都構想を何とか止めさせて欲しいと訴えるような目で私達に訴えておられた事実を皆様方にお知らせしたいと思います。

そしてこれが本当の大阪の声だと思います。ですから是非、17日の投票日に間違いなく反対票を入れないと、今の差では当日の逆転も当然有り得ます。そしてその結果、大阪市が無くなってしまう事

にもなりかねません。ですから、是非とも最後まで大阪都構想に反対の投票を大阪市民に対して、全国の色んな方から呼びかけを頂きたいという事をお願い申し上げます。

本日も御覧頂きありがとうございました。